

青山剛昌ふるさと館の あり方に関する提言書



令和2年2月

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会

目次

1. はじめに

- (1) 会長メッセージ
- (2) 委員会設置の背景

2. 青山剛昌ふるさと館の施設概要

- (1) 設置経緯
- (2) 施設概要

3. 施設の現状と課題

- (1) 展示スペースの充実
- (2) 所蔵品の保存
- (3) インバウンド観光客への対応
- (4) 館内設備の充実・バリアフリー化

4. 基本方針

- (1) コンセプト
- (2) 役割と機能

5. 施設整備方針

- (1) 施設整備の基本的な方針
- (2) 館外設備
- (3) 館内設備
- (4) 専門的人材

6. まとめ

資料編

- 資料1 青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会設置要綱
- 資料2 青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会委員名簿
- 資料3 青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会の審議の経緯
- 資料4 青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会アンケート調査 結果報告書
- 資料5 視察研修先概要
- 資料6 経済効果分析

1. はじめに

(1) 会長メッセージ

近年、日本のマンガ・アニメ文化は、日本国内のみならず、海外においても高い人気を集めている。

この北栄町でも、青山剛昌先生の代表作・マンガ「名探偵コナン」の爆発的人気を受け、青山剛昌ふるさと館の入館者が年々増加している。平成30年度の総入館者数は約16万人、このうち海外からの入館者数は約1万7,000人であり、今や、国内のみならず海外からも多くの人を訪れる施設として全国的にも注目されている。

本委員会では、現在の青山剛昌ふるさと館の課題の洗い出し、入館者や町民を対象にしたアンケートによる意識調査、県外の類似施設の視察研修等を通して、青山剛昌ふるさと館の今後のあり方について慎重に検討を重ねた。

今回の提言書で示した青山剛昌ふるさと館のあり方について、具体的に検討され、青山剛昌ふるさと館がマンガ・アニメ文化の発展の中心となる施設になって欲しいと願っている。

令和2年2月

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会
会長 蓑 豊

(2) 委員会設置の背景

青山剛昌ふるさと館は、「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」の拠点施設として多くのファンや観光客が訪れている。しかしながら、施設の狭隘性^{きょうあいせい}やバリアフリー化、貴重な所蔵品の収蔵・保存など、様々な課題が山積している。

平成30年2月に地元関係8団体より「青山剛昌ふるさと館の移転新築に関する請願書」が北栄町議会に提出された。町議会で審査を行った結果、平成30年9月定例会において請願が採択となった。

北栄町は、青山剛昌ふるさと館を観光施策の重要な施設と捉え、課題を整理し、調査・研究を進め、必要な措置を講じるべきであると考え、今後の青山剛昌ふるさと館のあり方を検討するために、この青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会が設置された。

2. 青山剛昌ふるさと館の施設概要

(1) 設置経緯

青山剛昌ふるさと館の施設は、もともと大栄歴史文化学習館として平成7年2月1日に開館した。郷土を中心とする歴史文化資料の展示や農業体験を通じて町民の文化的向上に資するために、旧大栄町の歴史や農業に関する資料を中心に展示を行っていた。

旧大栄町による「コナンのまちづくり」が本格化し始めた平成11年12月、大栄歴史文化学習館において特別展「青山剛昌展」を開設、さらに平成17年8月に大栄町・北条町合併記念 日本海新聞発刊30周年記念「名探偵コナン展」を開催し、大きな人気を博した。

その成果を活かし、施設のリニューアルを行い、展示内容の更なる充実を図り、平成19年3月18日に青山剛昌ふるさと館がオープンした。

この青山剛昌ふるさと館は、マンガ「名探偵コナン」の作者・青山剛昌先生の生まれ育った地である北栄町において、青山先生にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここを訪れる人々に彼の作品を通し、青山先生の魅力や人となりを紹介する「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」の拠点施設として設置された。

現在、この施設は、名探偵コナンの聖地、北栄町の新しい観光拠点スポットとなっており、平成30年8月には累計入館者数が100万人を突破した。

(2) 施設概要

①所在地 鳥取県東伯郡北栄町由良宿1414番地

②施設規模 敷地面積 5,286㎡

延床面積 891.27㎡

鉄筋コンクリート2階建て

③管理運営体制 北栄町観光交流課所管による直営。

館長1名

職員3名（うち企画員1名）

フロアスタッフ5名

④館内写真



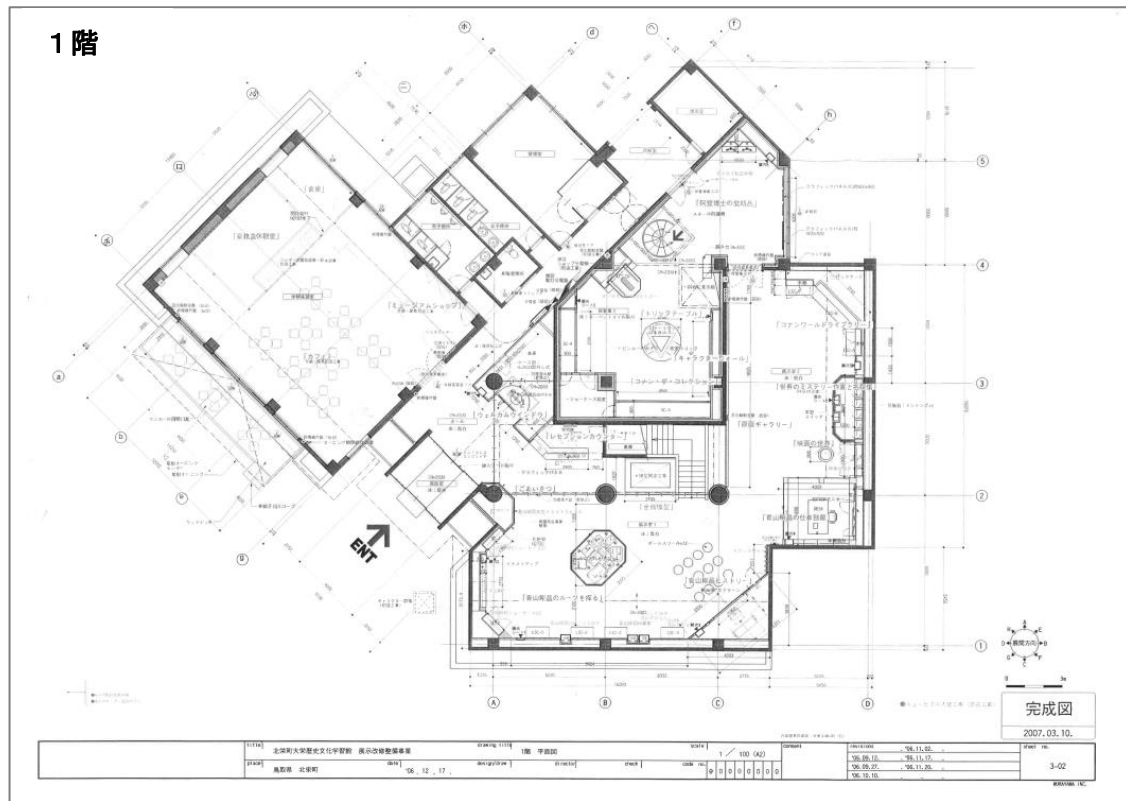
混雑する館内の様子（令和元年5月撮影）



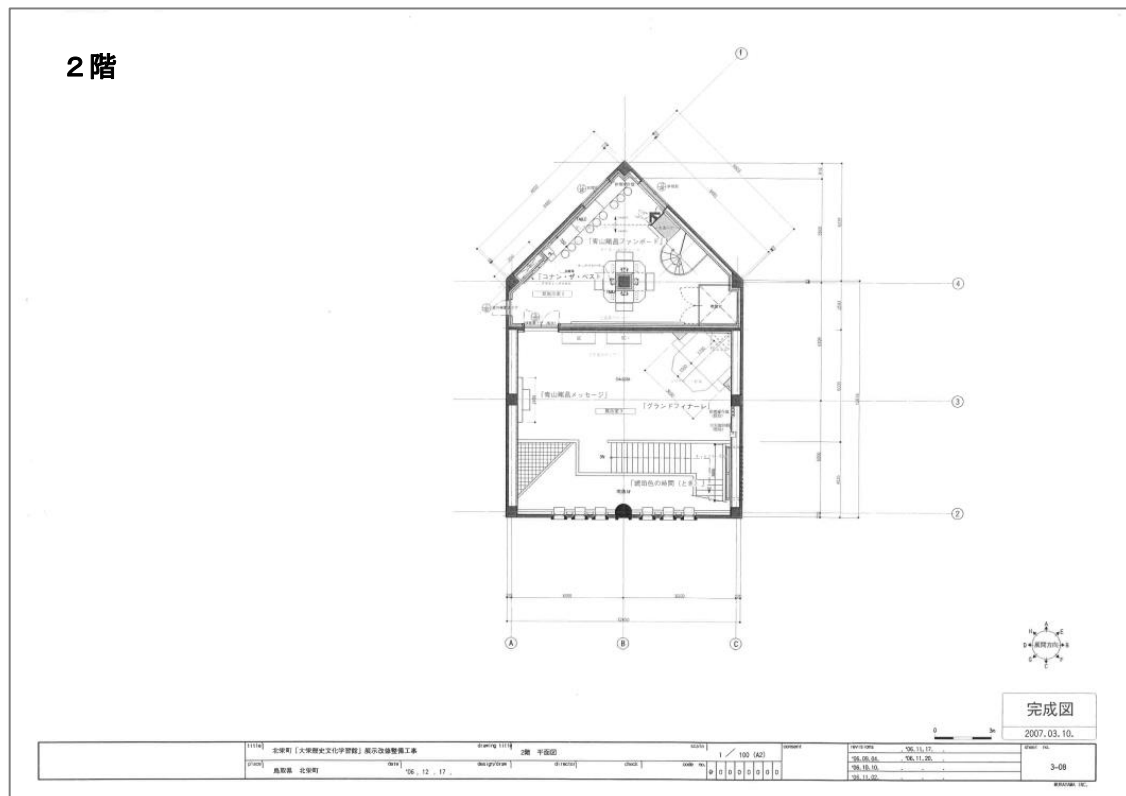
混雑する館内の様子（令和元年5月撮影）

⑤館内図面

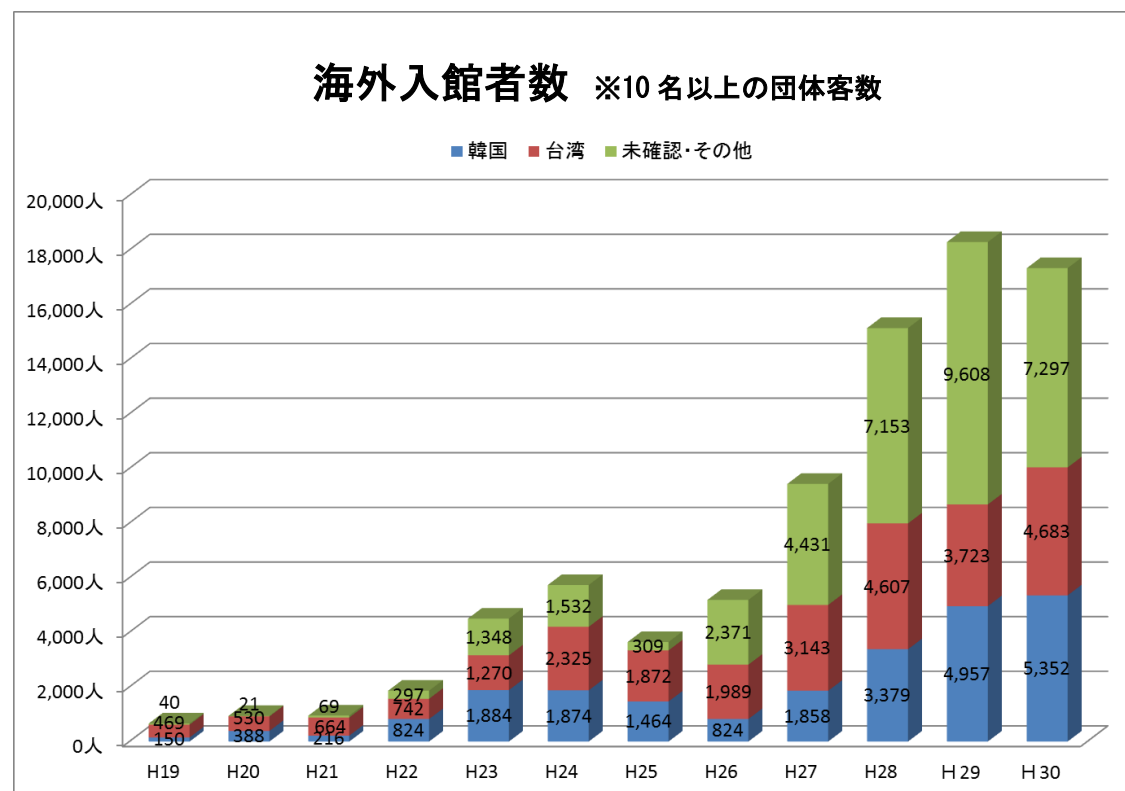
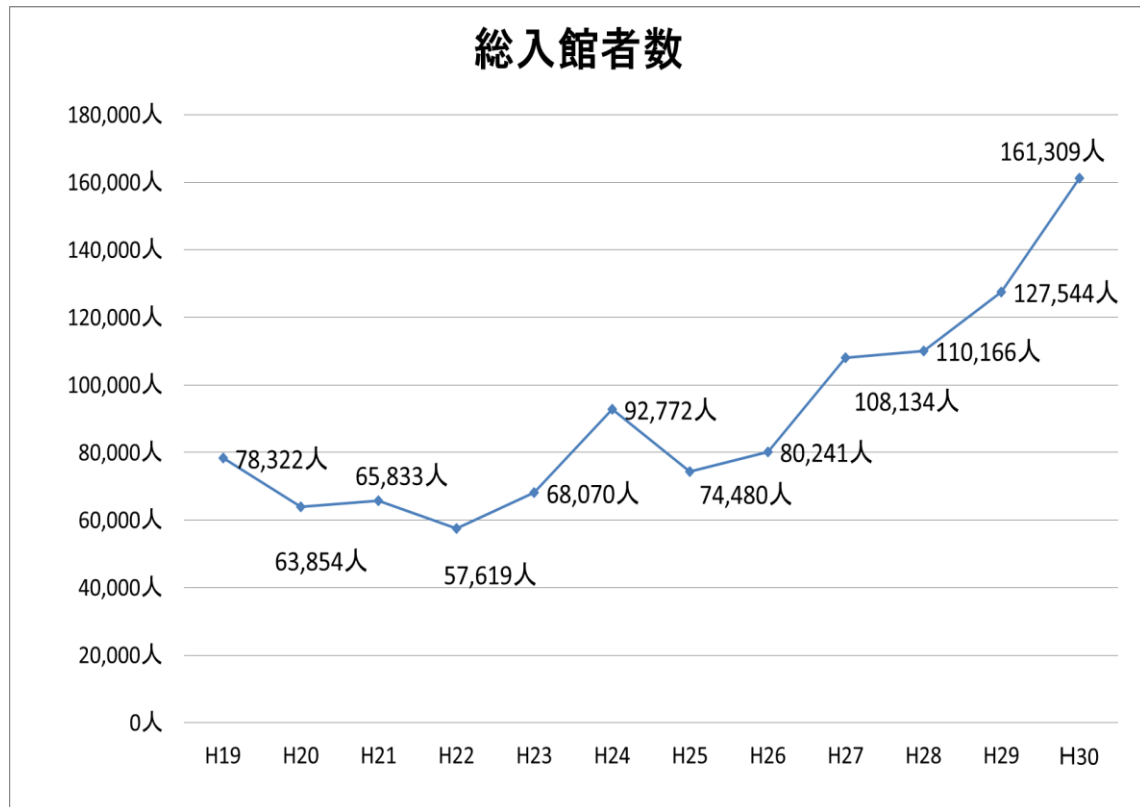
1階



2階



⑥入館者数の推移



3. 施設の現状と課題

(1) 展示スペースの充実

青山先生から譲り受けた大量の貴重な所蔵品（原画及びネームなどの関連資料やグッズなど）を有効に活用して展示するスペースが不足している。

また、施設の狭隘性^{きょうあいせい}も課題の1つである。特に入館者数の多いゴールデンウィークや夏休み期間中などは、展示スペース全体が入館者で溢れており、ゆっくり作品を鑑賞できる状態ではない。入館者数に対して、明らかに展示スペースが不足している。

さらに、企画展やイベントが開催できるスペースもないため、ものづくりなどのワークショップも常設展示スペースで行っている状況である。

(2) 所蔵品の保存

バックヤードに所蔵品の保存スペースが不足している。

また、温湿度や照度の管理が出来るような設備がないため、作品にとって適切な状態での収蔵・保存は出来ていない。

<参考>

日本のマンガは国内のみならず、国外においても高い人気を集めている。だが、マンガの原画やネームといった、作品の途中段階である関連資料の価値はまだ定まっておらず、オークションでの売買などによる国内外への流出、さらには関係者自身が散逸や棄却するケースも見られる。このような事態に鑑み、近年、文化庁のメディア芸術連携促進事業や横手市増田まんが美術館のような自治体事業を通じて、原画をはじめとするマンガの関連資料を収集・保存・活用する取り組みが全国的に進んでいる。また、収蔵方法や施設環境・設備のあり方など、共有すべき知見や課題が多いため、関連施設間のネットワーク構築も並行して進められている。

○国内における先進事例（横手市増田まんが美術館）



常時温湿度管理がされている収蔵庫



原画のデジタルデータ化など作業を行う
アーカイブルーム

(3)インバウンド観光客への対応

海外での「名探偵コナン」人気を受けて、青山剛昌ふるさと館に入館する外国人観光客が年々増加している。施設内の案内表示や展示物の説明書きなど、多言語で表記しているが、充分とは言えない。

入館料の支払いについても、現在のところ現金のみとなっており、クレジットカードや電子マネーによる支払いには対応していない。

(4)館内設備の充実・バリアフリー化

施設の構造上、エレベーターの設置が不可能であり、車椅子の方や歩行が不自由な方が気軽に利用できる施設となっていない。

また、安心して利用できる子ども用トイレやおむつ交換スペース、授乳室が設置された専用のスペースがなく、子ども連れでの利用に対しても課題が多い。

4. 基本方針

(1)コンセプト

○コンセプト

「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」のシンボルとして、地域住民はもちろんのこと、北栄町を訪れるファンや観光客にも愛される地元の誇り。

○コンセプトに込めた思い

「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」の魅力の1つは、名探偵コナンキャラクターを使った常設展示である。名探偵コナンに関する展示は全国にもたくさんあるが、常に屋内外にオブジェ等が展示されている町は北栄町だけである。

この世界で唯一の「名探偵コナンに会えるまち」という強みを生かし、青山剛昌ふるさと館を訪れた方に、ここでしか出来ない体験を提供する。

青山先生の代表作「名探偵コナン」をはじめとする、青山作品の中に入り込めるような展示や体験型アトラクション、充実した館内外の設備など、子どもから大人まで、どなたでも、何度でも楽しめる施設とする。

また、作品のみではなく、マンガ家として成功を収めている青山先生自身にスポットを当て、青山先生の生い立ちから現在までのマンガ家としての生き方を紹介し、これからの未来を担う子どもたちをはじめ、青山剛昌ふるさと館を訪れた全ての方が、感性を育み、夢と希望を持つことのできる施設とする。

そのためには、青山剛昌ふるさと館にある雑誌やコミックス、原画等の青山先生の貴重な作品を今後も永く残していくために、作品にとって最適な状態で収蔵・保存・展示が出来るように、専門的人材を確保するとともに、十分な作業スペースや保存スペースのある収蔵庫を整備する。

(2)役割と機能

①展示

<機能>

- ・ 青山先生自身にスポットを当て、青山先生の生い立ちから現在までのマンガ家としての生き方を紹介する。
- ・ 収蔵作品をより多くの方に鑑賞していただくため、青山作品を常に紹介展示し、マンガ文化の発展・普及を図る。
- ・ 来館者の多様な関心や興味に応えつつ様々なジャンルの企画展示を適切な展示環境の下で行う。
- ・ 年齢や言語、障がいの有無等に関わらず、全ての方に楽しんでもいただけるような展示を行う。

<事業展開>

○常設展示

- ・ 作品やテーマ別等での展示展開や体験型アトラクション、読書コーナー等により、来館者が青山作品の世界観を感じ、親しむことのできる機会を提供する。
- ・ 音声ガイド機やタブレット端末・スマートフォン等を利用した視聴解説ガイドを導入し、作品の魅力を分かりやすく伝える展示を行う。

○企画展示

- ・ 青山作品に関する企画展示を開催する。
- ・ 来館者の多様な関心や興味に応え、多用途に使用できるスペースとして活用する。

②収蔵

<機能>

- ・ 青山作品に関する雑誌やコミックス、貴重な原画及びネームなどの関連資料を適切な環境下で収蔵・保存する。

<事業展開>

- ・ 収蔵・保存機能を整備し、これまで青山剛昌ふるさと館が収蔵してきた所蔵品を適切な環境下で保存管理を行う。
- ・ 収蔵した貴重な原画及びネームなどの関連資料のデータベース化、アーカイブ化に取り組む。

③教育普及

<機能>

- ・ マンガ文化の発展・普及を図るため、マンガやイラストに関する体験学習機会を来館者の多様なニーズにあわせて提供する。
- ・ 年齢や言語、障がいの有無等に関わらず、様々な方が参加できるプログラムを提供する。

<事業展開>

- ・マンガ文化に触れることのできる体験型ワークショップを実施する。
- ・親子参加型プログラムを実施し、幼いころから家族ぐるみでマンガ文化に親しむ機会を創出する。
- ・町内の小学生すべてが年に一度は青山剛昌ふるさと館を訪れ、青山作品の魅力や青山先生の人となりを知り・楽しむことができるように招待する。

④地域との連携

<機能>

- ・地域の賑わい創出の一端を担う。

<事業展開>

- ・様々なイベントの場として提供し、周辺施設と連携して地域の賑わい創出を図る。

5. 施設整備方針

(1)施設整備の基本的な方針

青山剛昌ふるさと館に求められる役割を果たし、必要な機能を確保するために、施設整備の基本的な方針を以下のとおりとする。

①作品を最適な環境で保存・展示

- ・青山先生の貴重な原画及びネームなどの関連資料を適切な環境で保存・展示でき、自然災害にも耐えうる施設。

②誰もが安心・安全・快適に利用

- ・バリアフリー対応の施設づくりを心掛け、年齢や障がいの有無等に関わらず、全ての方が安心・安全・快適に利用できる施設。

③賑わい創出

- ・地域への賑わいや活力を与えることのできる施設。

④他施設との相乗効果の発揮

- ・コナン通りやコナンの家 米花商店街をはじめ、道の駅大栄やお台場公園など周辺の観光施設との相乗効果を発揮できる施設。

⑤デザイン性に優れた施設

- ・「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」のシンボルとなり、多くの人が憧れ・誇りを感じることできる、デザイン性に優れた施設。

⑥効率的・持続可能な施設

- ・合理的・効率的な設備仕様や配置に配慮した施設。
- ・計画的で適切な維持管理により、長期にわたって「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」のシンボルとしてあり続けることが可能となる施設。

(2)館外設備

①外観

「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」のシンボルとして町民の誇りとなり、また町外からの来館者の思い出に残るようなデザイン性に優れた外観とする。

建物入口前には青山剛昌ふるさと館のシンボルとなるオブジェを設置する等の工夫により、来館者の期待感を高める。

②駐車場

小型車・大型車ともに十分な駐車台数を確保した駐車場を整備する。建物入口付近には障がい者用駐車スペースを設け、障がいのある方や高齢者へ配慮する。

大型バスで訪れる団体客も多いことから、バス専用駐車スペースを設ける。

③屋外広場

青山剛昌ふるさと館敷地内の屋外スペースに広場を整備し、来館者や地域住民の憩いの場を提供する。

また、ゴールデンウィークや夏休み期間中など多くの来館者が見込める時期は、イベントで活用し、賑わいを創出する。

(3)館内設備

①展示エリア

ア 常設展示室

青山先生の生い立ちから現在までのマンガ家としての生き方や仕事風景の紹介、原画の展示、青山作品の中に入り込めるような体験型アトラクションなど、これまで青山先生が創り上げてきた独自の世界観に触れられる内容とする。

特に、少年時代の作品や当時読んでいた本など、青山先生のルーツに関する展示は重点的に整備する。青山先生がなぜマンガ家の道を選んだのかを解説し、訪れた方が青山先生をより身近に感じ、感性を育み、夢と希望を持つことのできるものとする。

また、貴重な原画等を展示するため、温湿度管理機能のついた展示ケースの導入の他、展示エリアに最適な空調設備や照明設備を導入し、展示エリア内の環境を充実させる。

定期的な展示入れ替えを想定し、作品の入れ替えが容易となる設備、例えば可動式展示壁等を設置することが望ましい。

イ 読書ルーム

来館者が青山作品のコミックスや関連書籍、青山先生が影響を受けた作品等を読むことが出来るスペースを整備する。

空調や照度など読書に適した環境を創り上げ、リラックスできる空間とする。

また、座り心地の良い椅子や誰もが本を出し入れしやすい本棚など、設置する備品等にもこだわる必要がある。

ウ シアタールーム

シアタールームを整備し、青山作品のアニメや映画を上映する。多くの来館者が見込まれ、館内が混雑する繁忙期には、シアタールームを映画館のように定員入り替え制にするなど、より多くの来館者に楽しんでいただける工夫が必要である。

エ 企画展示室

青山作品に関連する企画展示等に活用できる企画展示室を整備する。

企画内容によって展示物の配置や来館者の動線を変えることが出来るように、可動式展示壁を設置する。

常設展示室と同様に、展示室内の温湿度や照度管理は徹底しなければならない。

②教育普及エリア

ア ワークショップスペース

マンガ文化に触れることのできるワークショップ等のイベントが開催できるスペースを整備する。

ワークショップの対象や内容によって、机や椅子の配置を自由に変えられるスペースとする。

ワークショップで使用する機材を収納できるように、十分な収納スペースを設ける。

③収蔵エリア

ア 閉架収蔵スペース

貴重な原画及びネームなどの関連資料にとって適切な温湿度等の空調管理の設備を備えた、搬入出入口・トラックヤード・一時保管庫・収蔵前室・収蔵庫等を設け、将来、長期間にわたって収蔵が可能な広さを持つ収蔵前室や収蔵庫等、必要な設備を揃えた作品収蔵エリアを整備する。

また、作品の一時保管庫やコミックスや雑誌の保管庫など、その他のバックヤードに関しても十分な広さと設備を確保し、利便性にも留意する。

イ 開架収蔵スペース

所蔵作品のリスト化・データベース化・デジタルデータ化等の一連のアーカイブ作

業を、ガラス越しに来館者が自由に見学できるよう「見える化」に力点を置いた特設のスペースを設ける。

④コミュニケーションエリア

ア キッズルーム

青山剛昌ふるさと館は、子ども連れでの利用も多いことから、新たにキッズスペースを整備し、子ども向け機能の強化をはかる。キッズスペース内にはおむつ交換台、授乳室、ミルク用のお湯、手洗い用の水道などを整備する。

キッズスペースは防音とし、子どもが泣いている状態でも他の来館者に対して、気兼ねなく利用できるように工夫する。

イ 多目的ルーム

子どものクールダウンやムスリム観光客のお祈り等にも使用できる多目的ルームを整備する。

ウ カフェ・レストラン

来館者が気軽に休憩や食事ができるスペースとして、カフェ・レストランを整備し、来館者がより一層楽しめ、快適に過ごすことのできる施設を目指す。

食を通して青山先生の世界観に触れられるように、青山作品に関連したメニューを提供する。北栄町産の地元食材を使用するなど、地産地消にも配慮する。

エ グッズショップ

青山作品に関するグッズやお菓子、北栄町特産品を販売するグッズショップを整備する。

⑤共用・管理事務エリア

ア エレベーター・手すり・スロープ

エレベーターや手すりの設置のほか、床面は段差のないフラットな構造にし、全ての来館者が安心・安全に利用できる施設づくりに取り組む。

イ 事務室・応接室・会議室・職員用休憩室・救護室等

青山剛昌ふるさと館の運営や維持管理に必要な機能を整備する。

来館者の体調不良や怪我等の予期せぬトラブルに対応できるように救護室を設置する。

また、十分な広さの事務室や職員用休憩室等を整備し、青山剛昌ふるさと館で働く職員にとっても快適な環境づくりに取り組む。

(4)専門的人材

①企画員の配置

「名探偵コナン」をはじめ「まじっく快斗」、「YAIBA」などの青山作品について、相当の知識を有する者を企画員として配置し、展示やイベントの企画・運営に携わり、誰でも何度でも楽しめる施設とする。

②専門的知識を有する職員の配置

作品の取り扱いや展示に関する知識を有する学芸員の配置が必要である。

学芸員は展示の企画運営を担当する学芸員（キュレーター）と、所蔵作品のデジタルデータ化などのアーカイブ作業に関する専門知識を有する学芸員（アーキビスト）それぞれを配置し、青山先生の貴重な作品を今後も長期間に渡って保存・展示する取組みが必要である。

6. まとめ

これらの必要な機能を整備するためには、現在の青山剛昌ふるさと館の大規模改修では全ての機能を取り入れることは出来ない。必要な機能全てを整備するためには、十分な敷地面積・建物面積を確保する必要があり、出会いの広場（旧鳥取県運転免許試験場跡地）への新築が望ましい。

また、青山剛昌ふるさと館は、コンセプトにもあるとおり、ファンや観光客だけでなく、地域住民にも愛される場としての整備が必要であり、その手法の一つとして、他の公共施設とエリアを共有することが考えられる。

しかしながら、本提言の内容を全て満たすためには、多額の費用が必要となることから、多角的な対応を常に検討し、今後の方針を決定する必要がある。

いずれの方針になったとしても、施設の狭隘性^{きょうあいせい}の解消、収蔵している青山先生の貴重な原画等の作品を最適な環境で保存・展示でき、自然災害にも耐えうる施設とすることや、エレベーター設置をはじめとする施設のバリアフリー化などは、必ず取り組まなければならない事項である。

以上のとおり、本委員会において検討した結果を提言する。

北栄町告示第54号

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 青山剛昌ふるさと館(以下「ふるさと館」という。)のあり方について検討するため、青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は次に掲げる事項を検討し、町長に提言する。

- (1) ふるさと館の基本的な設置目的・理念、性格や機能、施設設備や規模、立地場所及び運営体制等のあり方に関すること。
- (2) その他ふるさと館のあり方に必要な事項に関すること。

(構成等)

第3条 委員会は、会長1名、副会長1名及び委員12名以内で構成する。

- 2 委員は、別表に掲げる関係機関等から選任された者とする。
- 3 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、役職の変更に伴う後任者の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第4条 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

- 2 会長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(アドバイザー)

第5条 委員会に、アドバイザーを置くことができる。

- 2 アドバイザーは、必要に応じて追加等の変更を行うことができるものとし、会長が選任する。

3 会長は、ふるさと館のあり方の検討の円滑な遂行を図るため、アドバイザーに意見を求めることができる。

(会議)

第6条 委員会は、会長が招集し、会長が議長となる。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、北栄町観光交流課内に置く。

(その他必要事項)

第8条 この要綱に定めるものの他必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この要綱は、平成31年4月25日から施行する。

別表(第3条関係)

関係機関等
自治会
観光協会
商工団体
学識経験者
展示施設
公募委員
その他町長が必要と認める者

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会委員名簿

氏 名	役 職 等	備 考
たけとし かずひろ 竹歳 和博	由良宿自治会長会会長	自治会
やまます けいいち ○山栞 敬一	北栄町観光協会会長	観光協会（請願者）
つのだ よしお 角田 芳夫	北栄町商工会副会長	商工団体（請願者）
さわだ としみち 澤田 廉路	株式会社地域資源活用研究所代表取締役 元鳥取大学地域学部特命准教授（地域再生担当）	学識経験者
よしむら かずま 吉村 和真	京都精華大学副学長兼マンガ学部教授 京都精華大学国際マンガ研究センター研究員	学識経験者
みの ゆたか ◎養 豊	兵庫県立美術館館長 金沢 21 世紀美術館特任館長	展示施設
しみず ゆみこ 清水 裕美子		公募委員
ふじき ともみ 藤木 智美		公募委員
たなか ふみ 田中 文	北栄マンガ寺子屋倶楽部部員	その他町長が必要と認める者（請願者）
はまぐち くにひこ 濱口 国彦	由良宿まちづくりの会理事	その他町長が必要と認める者（請願者）
やまおか のりき 山岡 憲樹	特定非営利活動法人とっとり希望化計画 21 理事長	その他町長が必要と認める者
ごとう めい 後藤 芽唯	北栄町地域おこし協力隊（「コナンの聖地」観光地づくり担当）	その他町長が必要と認める者

◎会長 ○副会長

《オブザーバー》

所 属	役 職	氏 名
鳥取県まんが王国官房	官房長	森田 美穂

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会の審議の経緯

第1回委員会

- 期日 令和元年6月11日（火）
- 議事 （1）役員の選出について
（2）今後の進め方について

第2回委員会

- 期日 令和元年7月9日（火）
- 議事 （1）青山剛昌ふるさと館の課題抽出について
（2）アンケート調査について
（3）視察研修について

第3回委員会

- 期日 令和元年10月17日（木）
- 議事 （1）アンケート調査結果について
（2）視察研修結果について
（3）提言書（案）について

第4回委員会

- 期日 令和元年11月19日（火）
- 議事 （1）提言書（案）について

第5回委員会

- 期日 令和2年1月28日（火）
- 議事 （1）提言書（案）について

青山剛昌ふるさと館あり方検討委員会アンケート調査 結果報告書

1. アンケート調査の実施

青山剛昌ふるさと館のあり方を検討するにあたって、入館者および町民の方が青山剛昌ふるさと館についてどのように考えているかを十分に把握するため、以下の2調査を実施した。

- ・青山剛昌ふるさと館入館者アンケート調査
- ・青山剛昌ふるさと館に関する町民アンケート調査

2. アンケート調査の概要

(1) 青山剛昌ふるさと館入館者アンケート調査

①調査の目的

入館者が感じている現在の青山剛昌ふるさと館の課題を把握すること。

②アンケート調査の方法

調査対象	青山剛昌ふるさと館の入館者（日本人 547 名、外国人 129 名）
調査期間	令和元年 8 月 1 日（木）～8 月 5 日（月）
配布・回収方法	青山剛昌ふるさと館内で手渡し配布。
調査方法	・ A3 両面 1 枚 ・ 受け取った方に記入していただく形式
主な調査内容	・ 個人属性 ・ 青山剛昌ふるさと館について（入館回数、入館理由、感想） ・ 青山剛昌ふるさと館のリニューアルの必要性の有無 ・ 今回の旅行での支出金額
その他	・ 外国人入館者向けに中国語版（繁体字、簡体字）・韓国語版・英語版のアンケートを実施した。

(2) 青山剛昌ふるさと館に関する町民アンケート調査

①調査の目的

町民の方が青山剛昌ふるさと館についてどのように考えているかを把握すること。

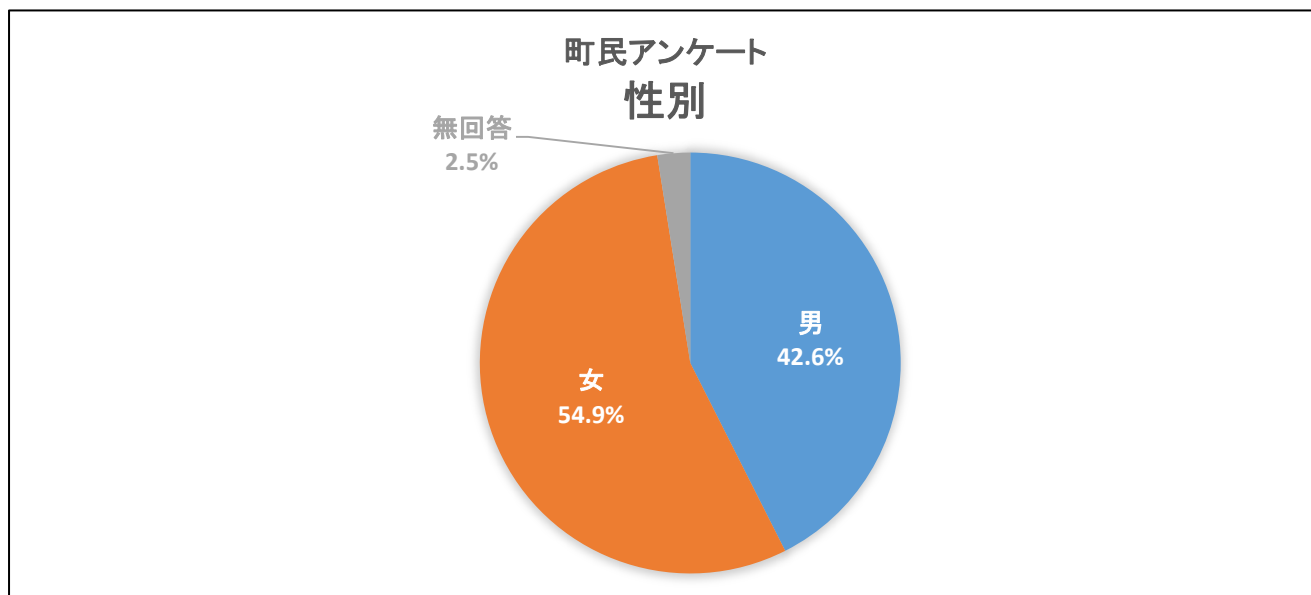
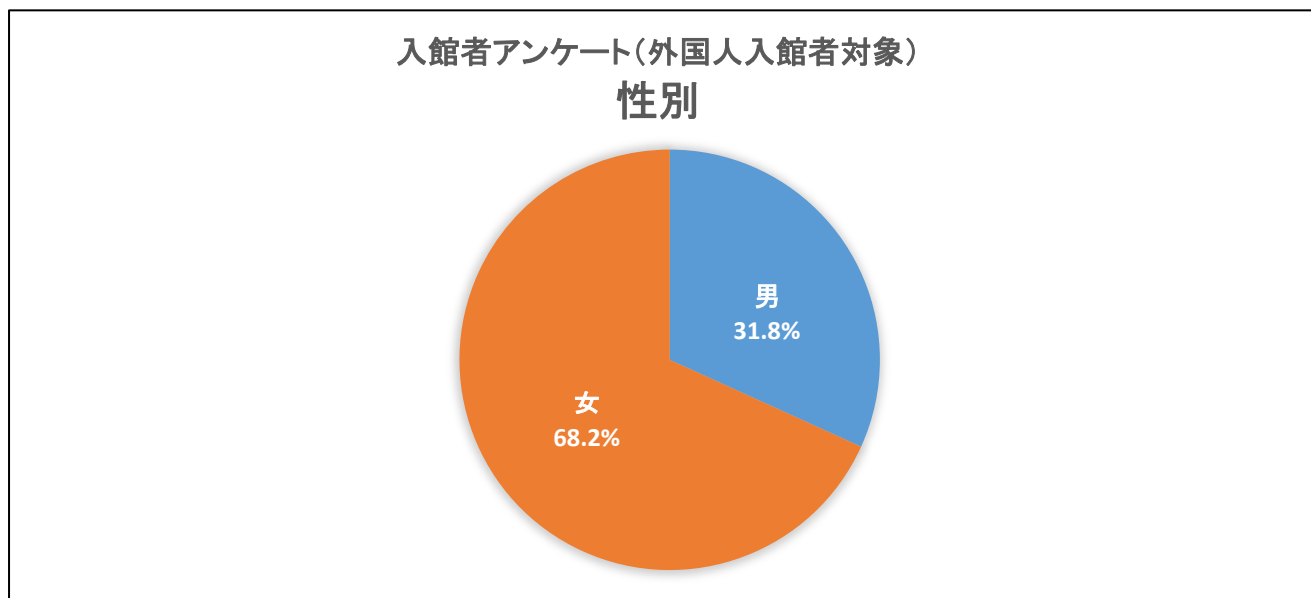
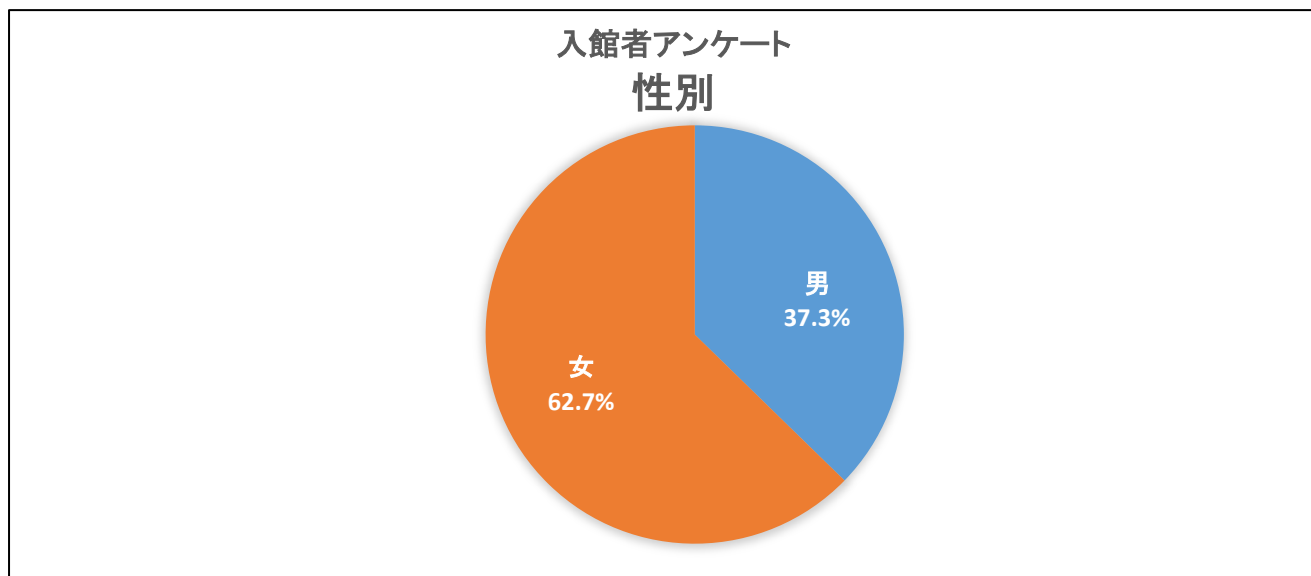
②アンケート調査の方法

調査対象	・ 16 歳以上の町内在住者 1,500 名を無作為抽出 ※対象者の抽出は事務局が実施
回収数	517 件（回答率：34.4%）
調査期間	令和元年 8 月 9 日（金）発送 令和元年 9 月 26 日（金）到着分まで集計
配布・回収方法	郵送
調査方法	・ A3 両面 1 枚 ・ 受け取った方（届いた名前の方）に記入していただく形式
主な調査内容	・ 個人属性 ・ 青山剛昌先生や青山剛昌ふるさと館の認知 ・ 青山剛昌ふるさと館について（入館経験、入館・未入館理由、感想） ・ 青山剛昌ふるさと館のリニューアルの必要性の有無

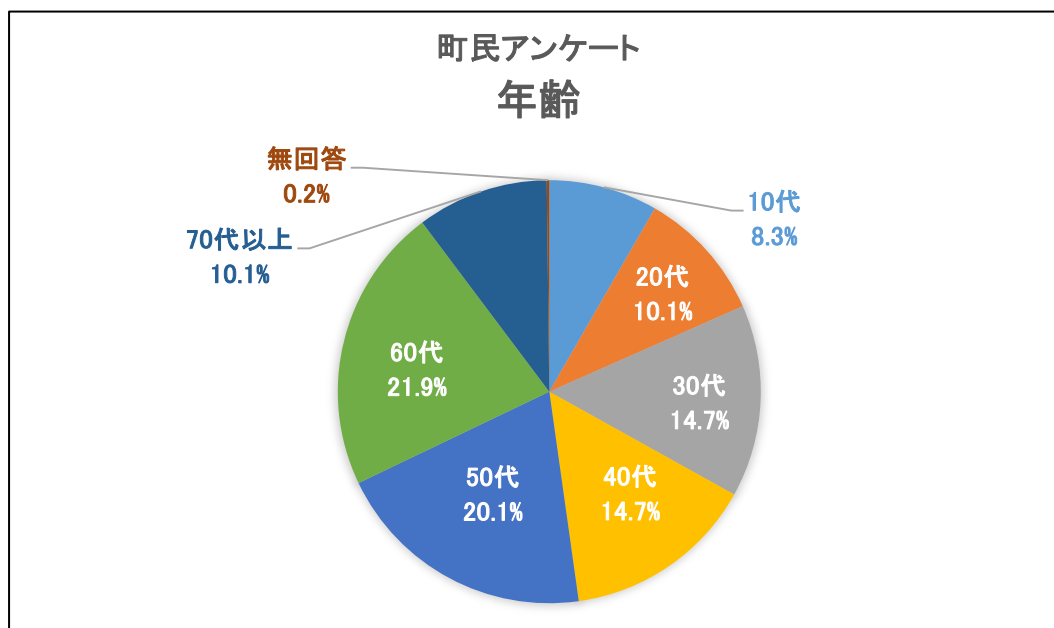
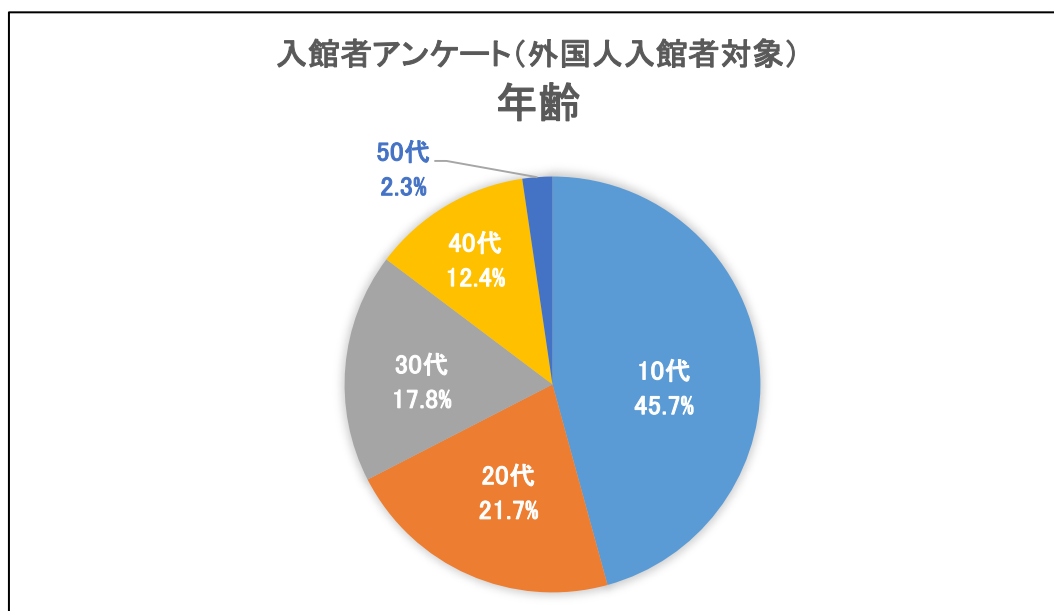
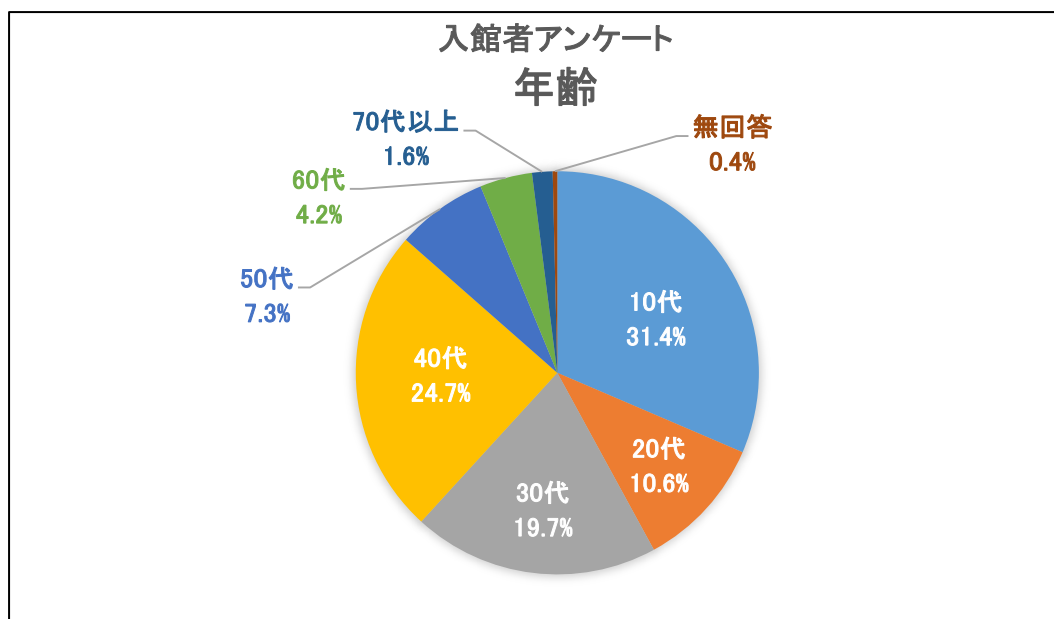
3. アンケート調査結果（抜粋）

（1）個人属性

①男性より女性の方が、入館やアンケート回収率が高い。

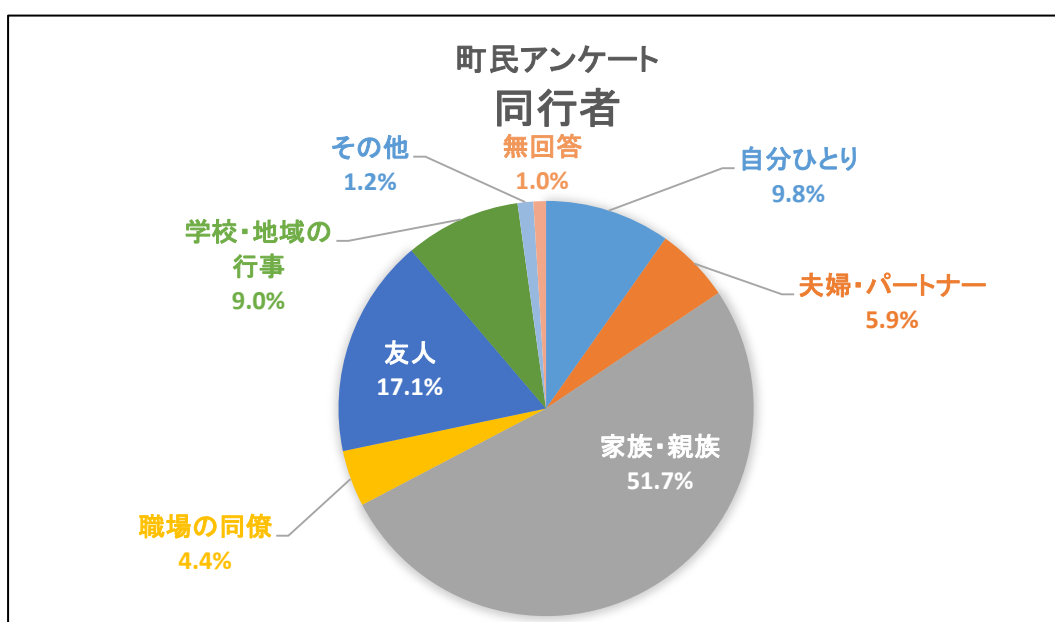
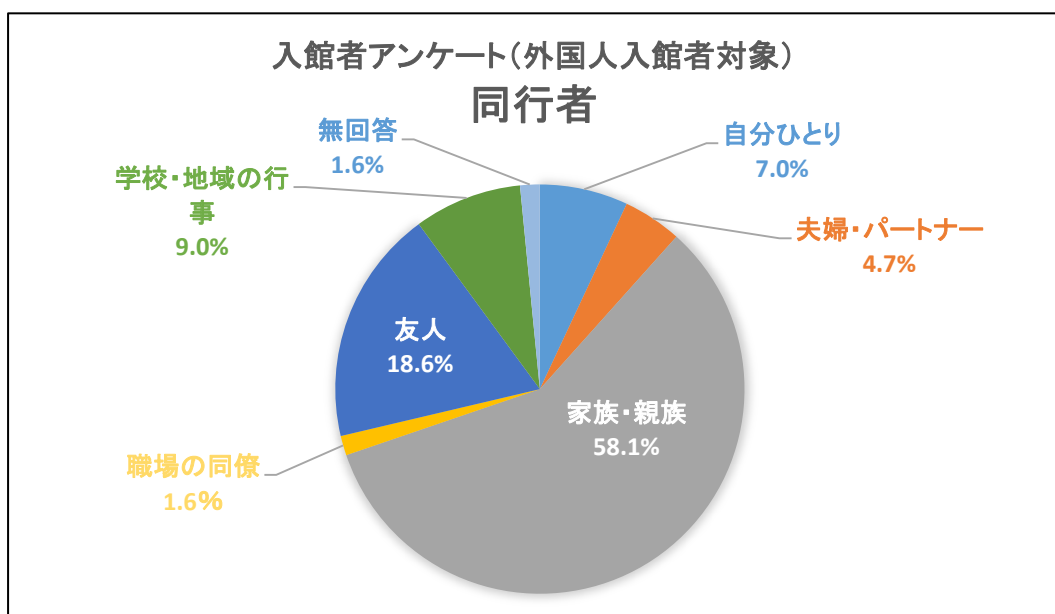
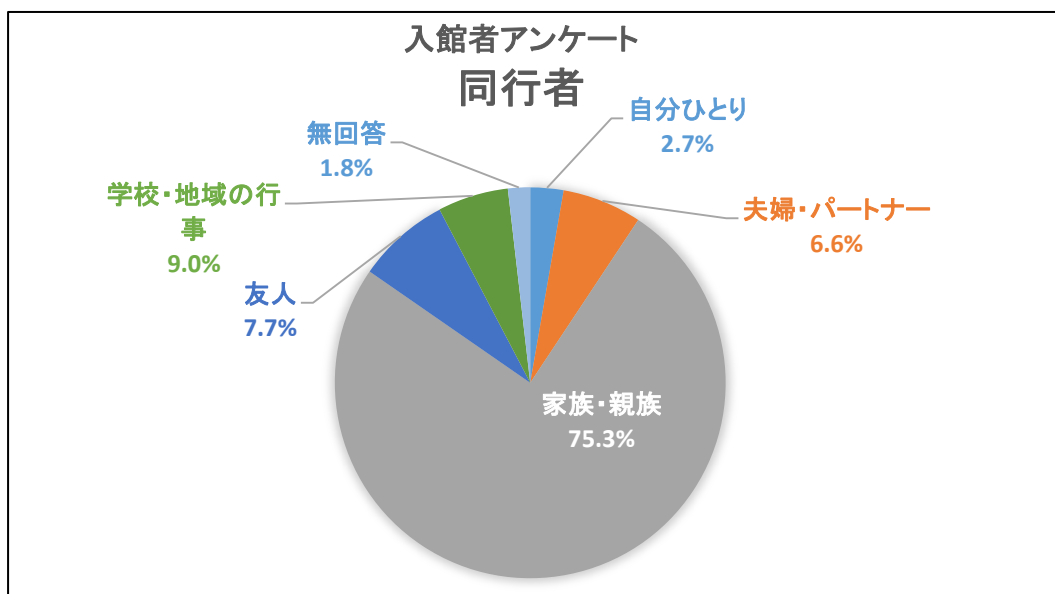


②年齢については、10代～40代の入館が多い。町民アンケートでは50～60代の回答が多い。

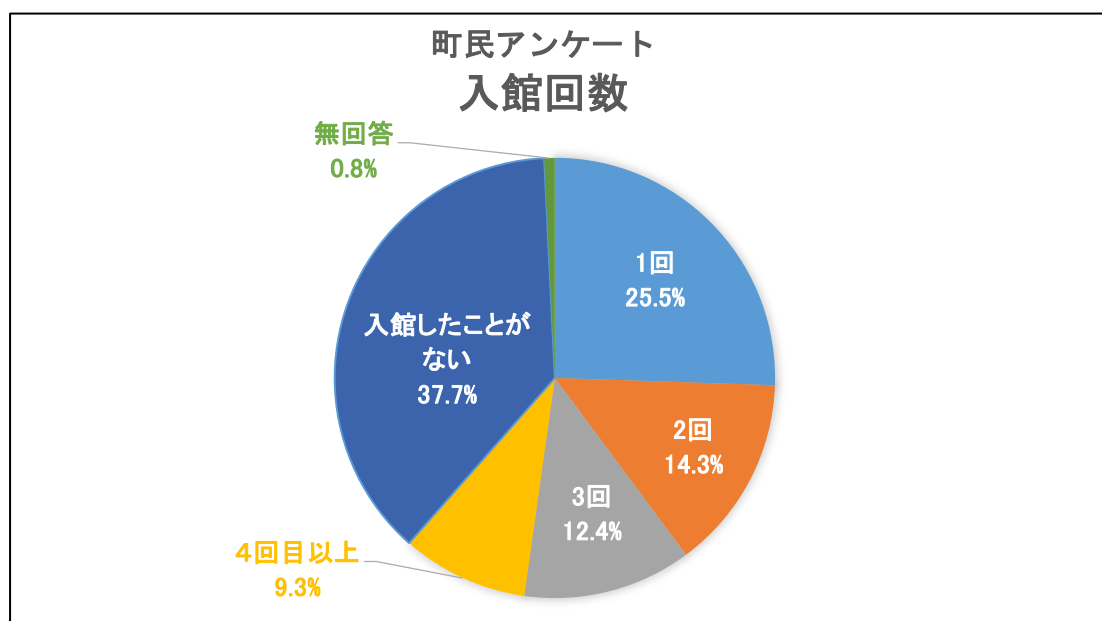
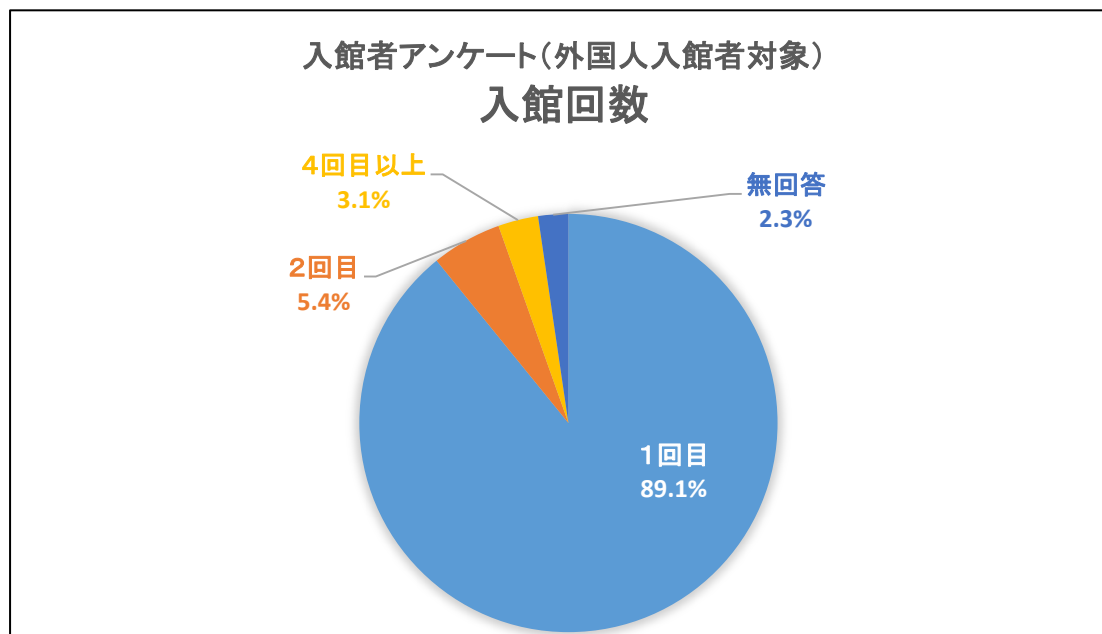
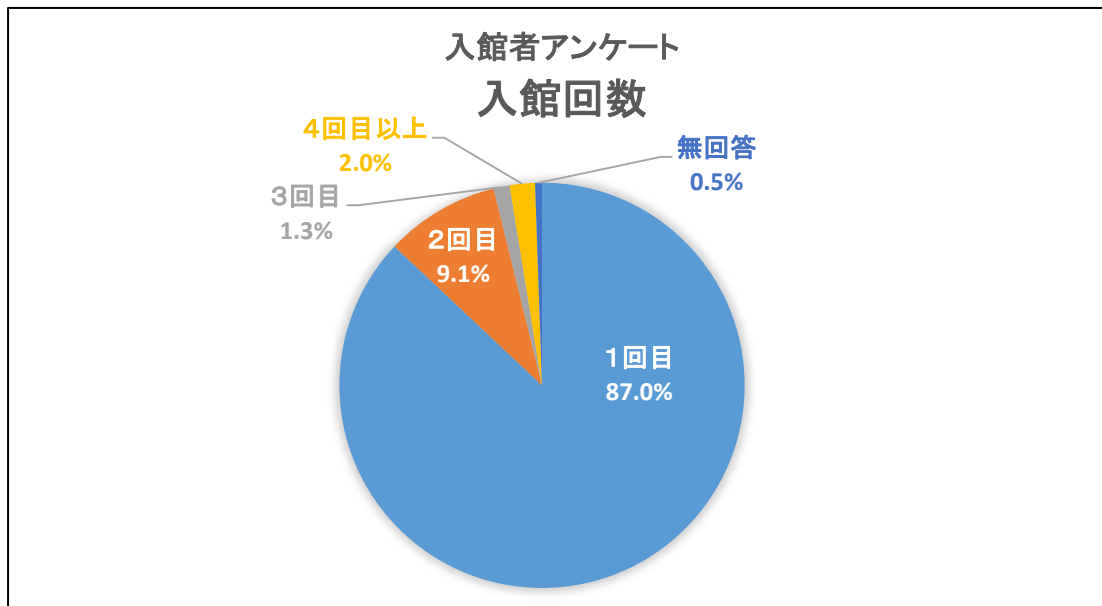


(2) 町民アンケート、入館者アンケートに共通する傾向

①入館については、家族の同行という理由が多い。

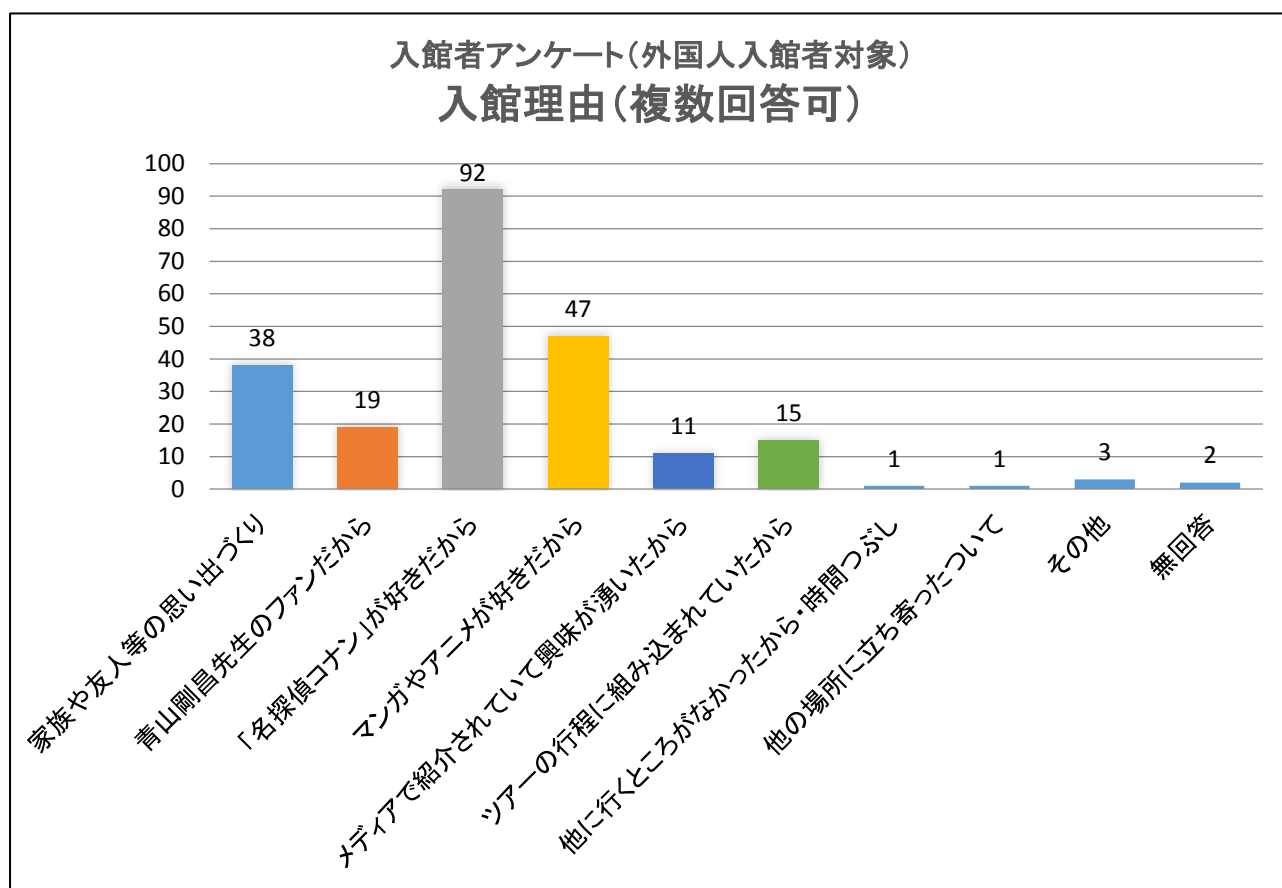
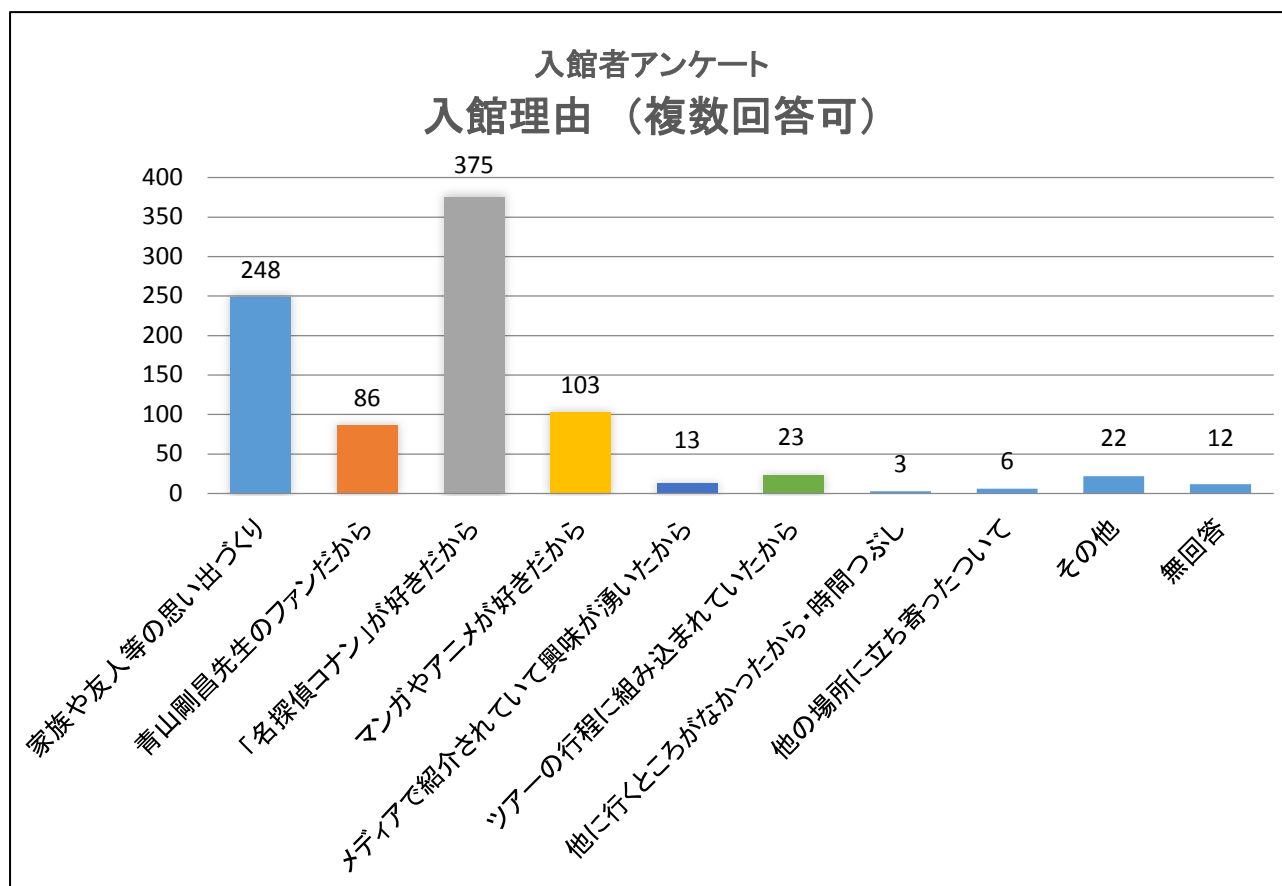


②入館回数は、1回という方が多い。

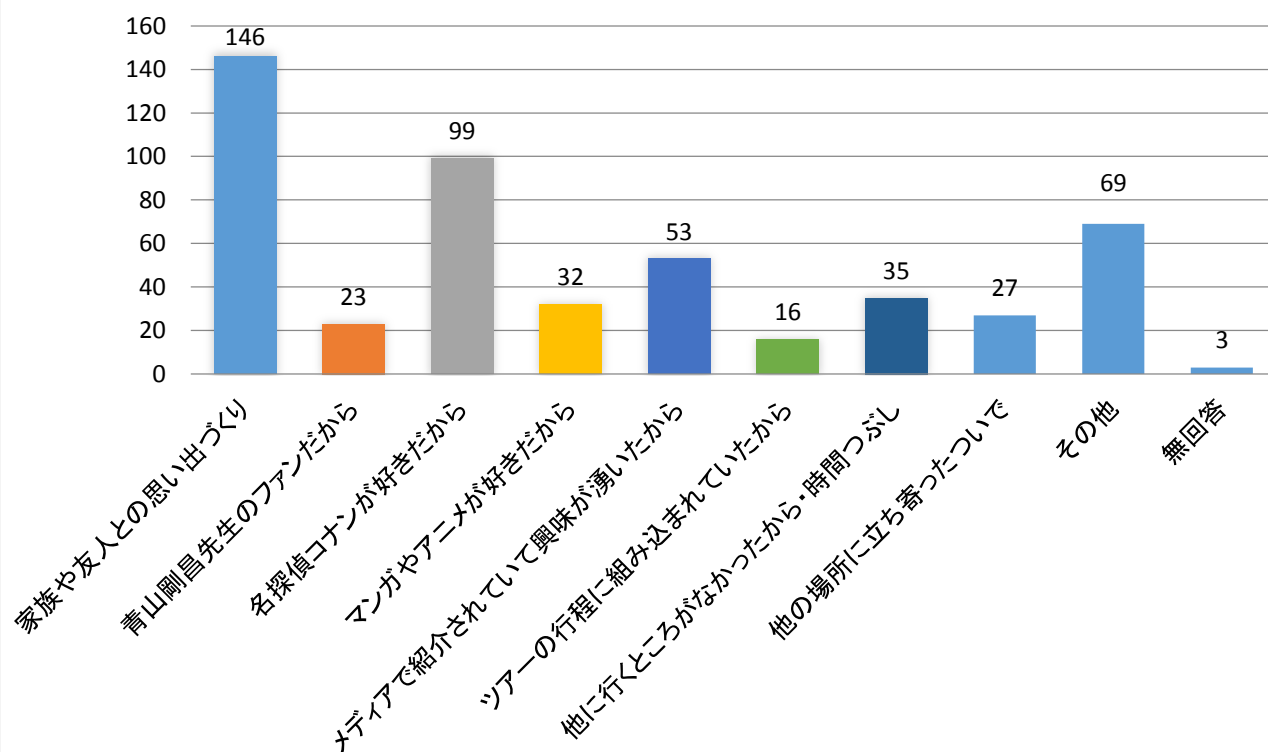


(2) 町民アンケート、入館者アンケートで異なる傾向

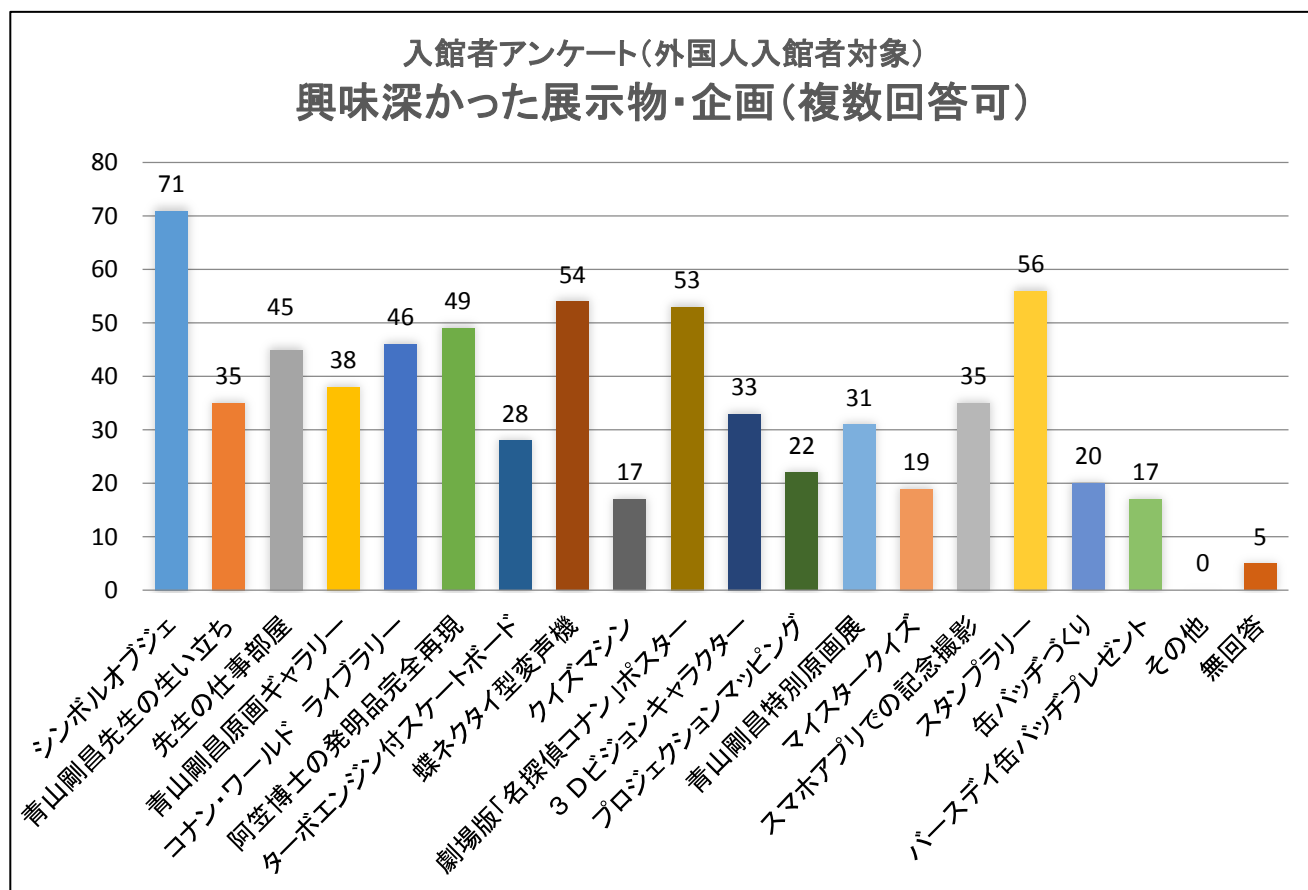
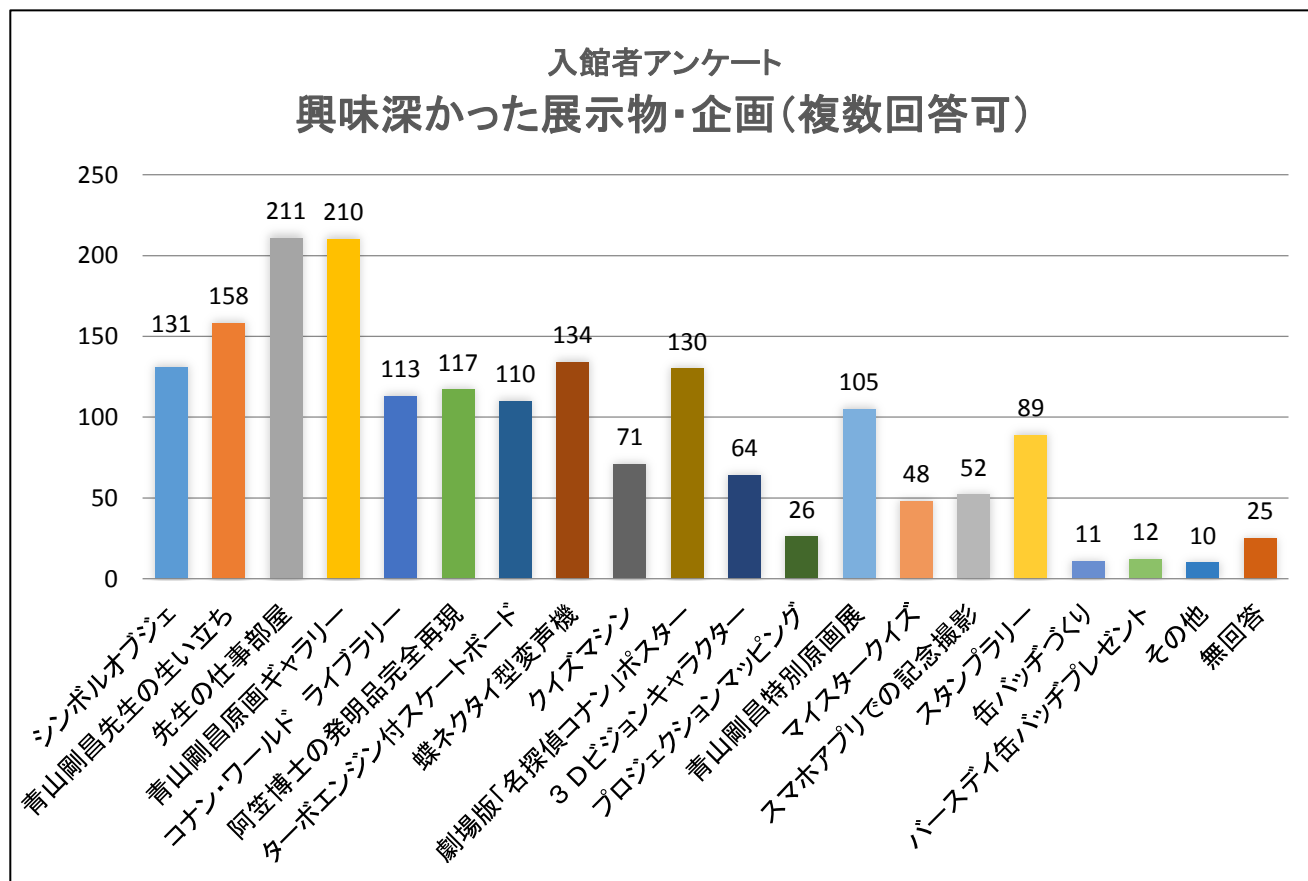
①町民は、家族・友人の思い出づくりで入館した方が多いが、町外者（国内外問わず）は、コナンが好きだから入館したという方が多い。



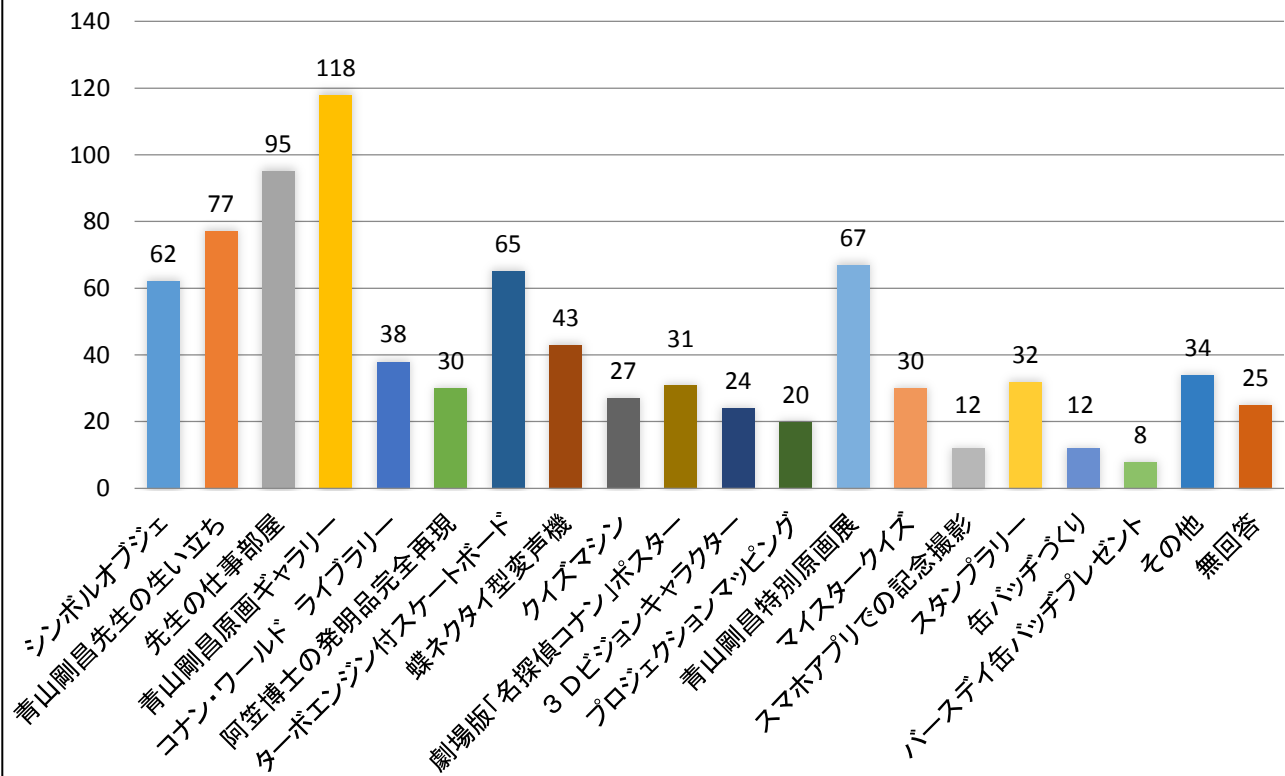
町民アンケート
入館理由(複数回答可)



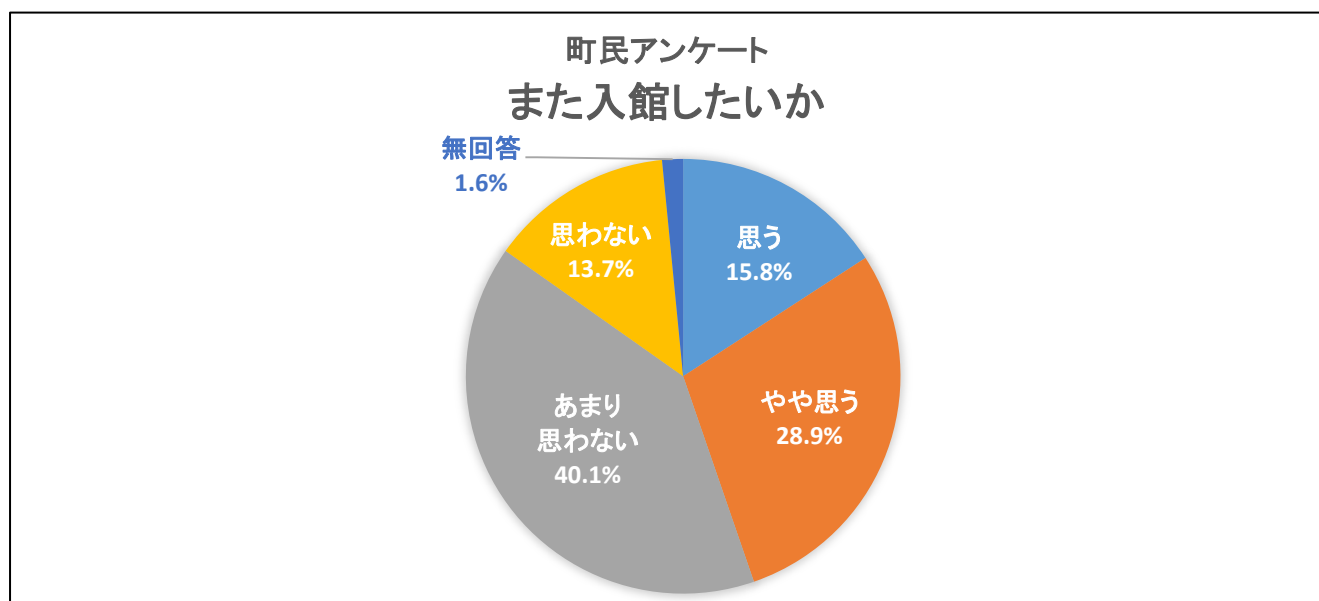
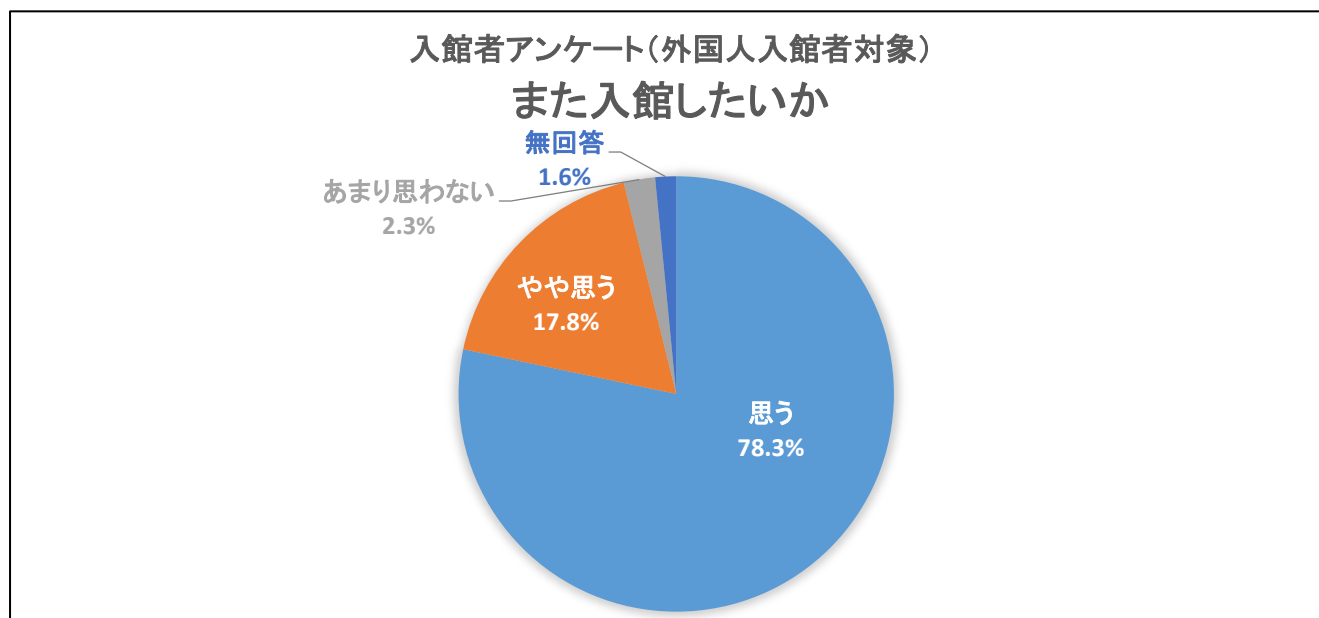
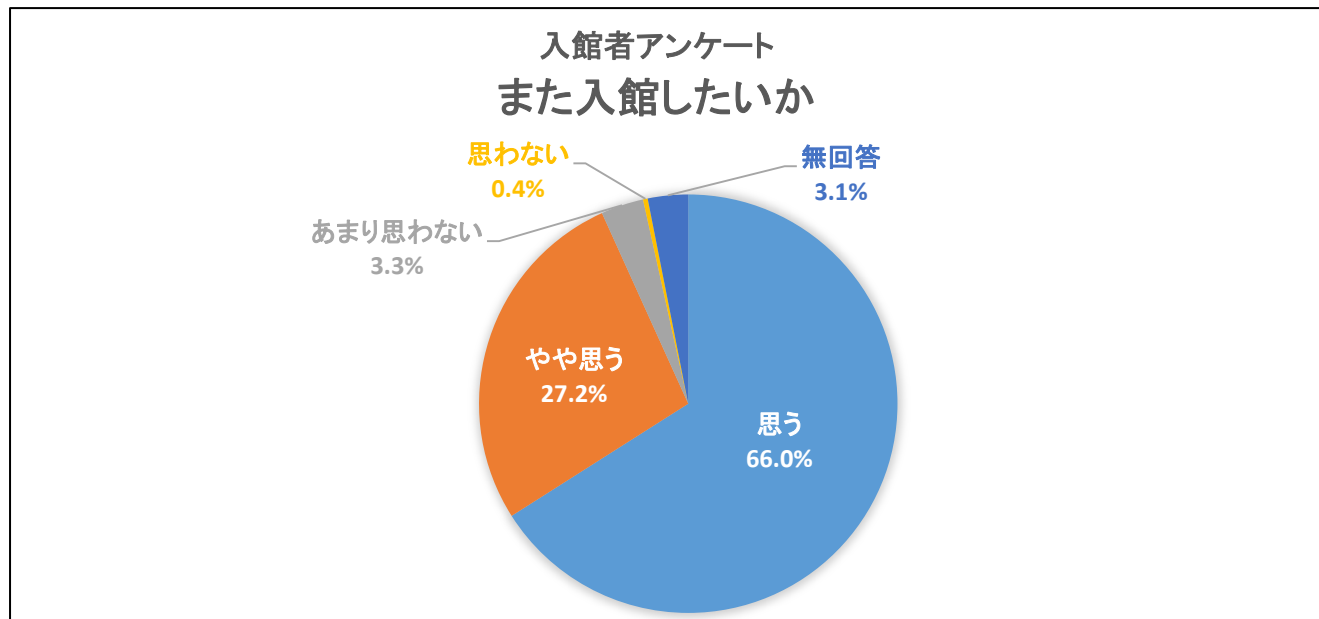
②町民を含む国内の入館者は原画のコーナーや、青山先生の仕事部屋の部分に関心を示しているのに対し、外国人入館者については、館内外のオブジェ類等に関心を持っている方が多い。



町民アンケート
興味深かった展示物・企画(複数回答可)



③町民が次回の入館について否定的であるのに対し、町外者（国内外問わず）は入館したいという意向が多い。



視察研修先概要

1. Aコース

期 日 令和元年 9 月 9 日（月）～10 日（火）

視察先 宝塚市立手塚治虫記念館、兵庫県立美術館、横尾忠則現代美術館

施設名	宝塚市立手塚治虫記念館
所在地	兵庫県宝塚市武庫川町 7－6 5
設置者	宝塚市
運営主体	宝塚市
施設規模	延床面積：1,395.01 m ² 構 造：鉄筋コンクリート造・地上 2 階、地下 2 階
施設概要	「自然への愛と生命の尊さ」を基本テーマに平成 6 年に開館。『リボンの騎士』王宮風エントランスホールや、『火の鳥・未来編』の生命維持装置カプセルをモチーフとした常設カプセルなど、手塚マンガを再現した館内で、マンガやアニメ、アニメ制作体験などが楽しめる。年 3 回の企画展は、手塚プロダクションとの業務委託契約により実施している。
特徴的な取り組み	・現物だと嵩んでしまう資料は、デジタルフォトフレームで表示するなどして、展示スペースの確保の工夫をしている。 ・館内限定で手塚作品の電子書籍を読むことが出来る無線 LAN「TEZUKA SPOT」を導入している。

施設名	兵庫県立美術館
所在地	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 1－1
設置者	兵庫県
運営主体	兵庫県
施設規模	延床面積：27,461.41 m ² 構 造：鉄筋鉄骨コンクリート造・地上 4 階、地下 1 階
施設概要	阪神・淡路大震災からの「文化の復興」のシンボルとして、平成 14 年に開館。設計は建築家・安藤忠雄氏。1 万点に及ぶ収蔵作品を展示する年 3 回のコレクション展、国内外の作品を展示する年 5 回の特別展を開催。王子動物園と同館を結ぶ道路を「ミュージアムロード」と命名。
特徴的な取り組み	・大規模な収蔵庫や展示室を整備し、徹底した温湿度や空調などの管理を行っている。 ・子どものいる美術館を目指しており、毎年、地元小学生を招待している。

施設名	横尾忠則現代美術館
所在地	兵庫県神戸市灘区原田通3丁目8-30
設置者	兵庫県
運営主体	公益財団法人兵庫県芸術文化協会
施設規模	延床面積：2,970.81 m ² 構 造：鉄筋鉄骨コンクリート造・地上4階、地下1階
施設概要	兵庫県西脇市出身の美術家、横尾忠則氏からの寄贈・寄託作品を適切な環境で保管し、多くの人に鑑賞していただくため、兵庫県立美術館王子分館の西館をリニューアルし、平成24年に開館。ガラス張りのアーカイブルームで、関連資料の保管・調査・研究を行う。
特徴的な取り組み	・4階にアーカイブルームが整備されており、一部壁面をガラス張りにすることで、多岐に渡るアーカイブ資料の調査・整理・保管環境等を来館者に常時公開し、検索システムや開架図書コーナーも併設することで、横尾芸術の魅力発信に努めている。

2. Bコース

期 日 令和元年9月26日（木）～27日（金）

視察先 京都国際マンガミュージアム、川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム
川崎市市民ミュージアム

施設名	京都国際マンガミュージアム
所在地	京都府京都市中京区烏丸通御池上る
設置者	京都市、学校法人京都精華大学（共同事業）
運営主体	学校法人京都精華大学
施設規模	延床面積：5,010 m ² 構 造：地上3階、地下1階 ※京都市龍池小学校校舎を増改築
施設概要	京都市と京都精華大学の共同事業として、元小学校舎を改修し、平成18年に開館。マンガ資料の収集、保管、公開と調査研究、展示、イベント等を行う、博物館的機能と図書館的機能を併せ持つ施設。所蔵資料は約30万点。館長は博物学者の荒俣宏氏。
特徴的な取り組み	・館内には約5万冊のマンガが並んでおり、来館者が実際に手に取り、自由に読むことができる。読書スペースも充実している。 ・館内にコミュニティスペースを備え、近隣住民との共存が図られ、その理解の元に運営されている。

施設名	川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム
所在地	神奈川県川崎市多摩区長尾2丁目8-1
設置者	川崎市
運営主体	株式会社藤子ミュージアム
施設規模	延床面積：3,700 m ² 構 造：鉄筋鉄骨コンクリート造・地上3階
施設概要	藤子・F・不二雄が35年にわたり暮らした川崎市に平成23年に開館。作品の「やさしい思い」に触れる空間には、生涯描いた原画約5万点の中から約130点を展示、キャラクターに出会える「はらっぱ」のほか、カフェやお土産屋も併設。入館者には専用の音声ガイド「おはなしデンワ」を用意。入館チケットは日時指定の完全予約制。
特徴的な取り組み	・館内照明を展示室は暗く、それ以外の場所は明るくするなど、照明の照度にも工夫が見られた。 ・ミュージアムカフェでは、作品に登場するエピソードを反映したメニューを提供。

施設名	川崎市市民ミュージアム
所在地	神奈川県川崎市中原区等々力1-2
設置者	川崎市
運営主体	アクティオ・東急コミュニティー共同事業体
施設規模	延床面積：19,542 m ² 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階
施設概要	「都市と人間」を基本テーマに、昭和63年に開館。川崎の成り立ちと歩み、ポスター、写真、マンガ、映画など、多彩なコレクションを紹介する博物館と美術館の複合文化施設。館長の大野正勝氏は前任の岩手県立美術館で、津波の被害を受けた作品の修復、保管に尽力。
特徴的な取り組み	・展示会に関連したワークショップを毎週開催。 ・令和元年台風第19号により、地階に設置された収蔵庫が浸水。収蔵品にも大きな被害が発生しており、文化遺産防災ネットワーク推進会議やその他団体の支援・協力を得ながら収蔵品レスキューに取り組んでいる。(令和2年1月28日現在)

3. Cコース

期 日 令和元年9月26日（木）～27日（金）

視察先 やなせたかし記念館、横山隆一記念まんが館、高知みらい科学館

施設名	やなせたかし記念館
所在地	高知県香美市香北町美良布 1224-2
設置者	香美市
運営主体	公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団
施設規模	・アンパンマンミュージアム 延床面積：1813.4 m² 構 造：鉄筋コンクリートラーメン構造・地上4階、地下1階 ・詩とメルヘン絵本館 延床面積：458.4 m² 構 造：地上2階木造・地下1階鉄筋コンクリート造
施設概要	やなせたかしゆかりの香美市に平成8年に開館。「アンパンマン」の世界を体感できるアンパンマンミュージアム、『詩とメルヘン』の作品を鑑賞できる詩とメルヘン絵本館がある。公益財団法人が市から指定管理を受けて運営。道の駅美良布に隣接。
特徴的な取り組み	・施設周辺には芝生広場が整備され、子どもたちが遊べる遊具やアンパンマンキャラクターのオブジェなどが設置されており、憩いの場となっている。 ・建物の設計段階からやなせたかし先生の意見が反映されており、随所に作者のこだわりが見られる。

施設名	横山隆一記念まんが館
所在地	高知県高知市九反田2-1
設置者	高知市
運営主体	公益財団法人高知市文化振興事業団
施設規模	延床面積：1878.6 m ² 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造（スーパーフレーム構造） 鉄筋コンクリート造 ※高知市文化プラザかるぼーとの3～5階部分
施設概要	高知市出身のまんが家・横山隆一を顕彰する記念館であり、かつ高知のまんが文化の拠点施設として、高知市文化プラザかるぼーと内に平成14年に開館。横山隆一の生涯の作品や趣味で、その人物を紹介する常設展示コーナー、まんが作品や絵本など1万冊以上を無料で利用できる「まんがライブラリー」では、高知県出身の漫画家の本も収集している。

特徴的な 取り組み	・まんがライブラリーは、こどもたち対象のワークショップ会場としても利用。 ・都会でしか見られないものを高知の方にも見てもらうために、様々なジャンルの企画展に積極的に取り組んでいる。
--------------	---

施設名	高知みらい科学館
所在地	高知県高知市追手筋 2－1－1
設置者	高知市
運営主体	高知市
施設規模	延床面積：2,258.96 m ² 構 造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造 ※オーテピアの5階部分
施設概要	複合施設オーテピア内に平成30年に開館。3つの常設展示ゾーンの他、実験室や工作室、プラネタリウムなども併設。デジタル地球儀をはじめ、宇宙・地球・光・音・運動・電気など様々な科学を体験できる展示が充実している。 また、ベビールームやキッズ休憩室を備えたキッズスペースも整備。館長の高橋信裕氏は大手展示会社出身の経歴から、博物館展示に精通。
特徴的な 取り組み	・科学館で学校の理科学習を実施しているほか、土日や夏休み等にはサイエンスショーやミニかがく教室などを開催。 ・プラネタリウムでは学芸職員によるオリジナル番組の制作及び生解説の実施。 ・地域の学校や文化センターなど館外に出向き科学館事業の普及に注力。

経済効果分析

観光消費額(推計) 約 100 億円

※来館者が青山剛昌ふるさと館に入館するための旅行で支出した費用の推計であり、北栄町以外の場所での消費（お土産代、交通費、宿泊費、飲食費）なども含まれる。

算出根拠

(単位：円)

区分	項目	1人あたりの消費単価	入館者数 (H30実績)	金額	合計
国内	青山剛昌ふるさと館 内で購入したグッズ・	3,753	143,977	540,345,681	648,549,357
インバウンド	お土産代	6,243	17,332	108,203,676	
国内	青山剛昌ふるさと館 外で購入したグッズ・	4,720	143,977	679,571,440	804,829,804
インバウンド	お土産代	7,227	17,332	125,258,364	
国内	交通費(切符代・ガソ リン代・高速道路料金 など)	18,436	143,977	2,654,359,972	3,102,340,176
インバウンド		25,847	17,332	447,980,204	
国内	宿泊費	23,848	143,977	3,433,563,496	3,834,712,636
インバウンド		23,145	17,332	401,149,140	
国内	食事・飲み物代	9,647	143,977	1,388,946,119	1,598,923,299
インバウンド		12,115	17,332	209,977,180	
国内 インバウンド	青山剛昌ふるさと館 入館料		161,309		83,692,200
合計					10,073,047,472

※観光消費額の算出にあたっては、青山剛昌ふるさと館入館者アンケート（令和元年 8 月実施）より算出した平均消費額に入館者数を乗じて試算した。ただし、青山剛昌ふるさと館入館料については、平成 30 年度実績額を計上した。